

総合生殖医療センター

1. 概要

当院で体外受精などの生殖補助医療（ART）がスタートしたのは1996年6月であり、2019年は22年目を迎えた。2007年12月タイムラプスインキュベーター（TLI）の世界初全例導入後も様々な最新医療機器と共に High Quality ART に取り組んできた。2018年には胚画像情報を中心に74項目の特性を人工知能（AI）的に分析して良好胚選択を行う最新型 TLI を導入、2019年には2台目も配備が完了して AI-ART に完全移行できた。

その一方で、地域の患者さんのみを治療対象、夫婦単位での初診と ART 説明会参加を徹底、単胚移植、出産・育児の開始まで一貫して管理、そのための病的状態の是正など理想を目指した取り組みを2019年も実践してきた。“先進的で唯一無二の生殖医療を東三河に”を合言葉に、健全な家族形成を地域での医療で完結するという生殖周産期医療の理想を旗印として、生まれてくる子どものことを第一に考えた基本軸のしっかりした医療を実践すべく、難しいケースにも的確に対応できるよう日々研鑽を重ねている。

診療に関連した情報等については、「産婦人科（生殖医療）」を参照いただきたい。

（センター長 安藤 寿夫）

2. 受賞

第19回日本生殖工学会優秀発表賞

ヒト射出精液培養検査：タイムラプス胚培養での ART 反復不成功例で疑う細菌の関与

受賞者：安藤 寿夫